

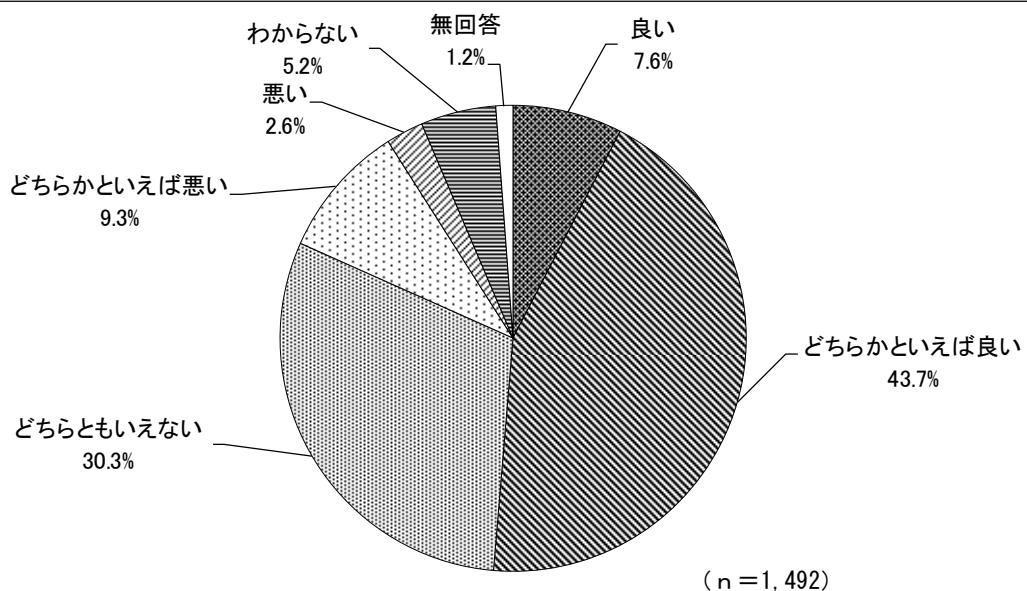
13 犯罪と治安対策について

(1) 県内の治安状況の変化

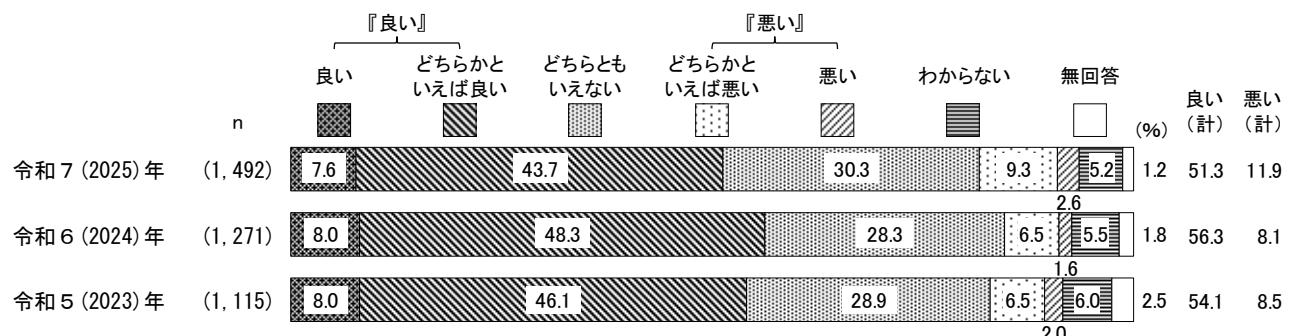
問30 あなたは、県内の治安についてどう感じますか。次の中から1つ選んでください。

[n = 1,492]

1 良い	7.6%	4 どちらかといえば悪い	9.3%
2 どちらかといえば良い	43.7	5 悪い	2.6
3 どちらともいえない	30.3	6 わからない	5.2
(無回答)			1.2

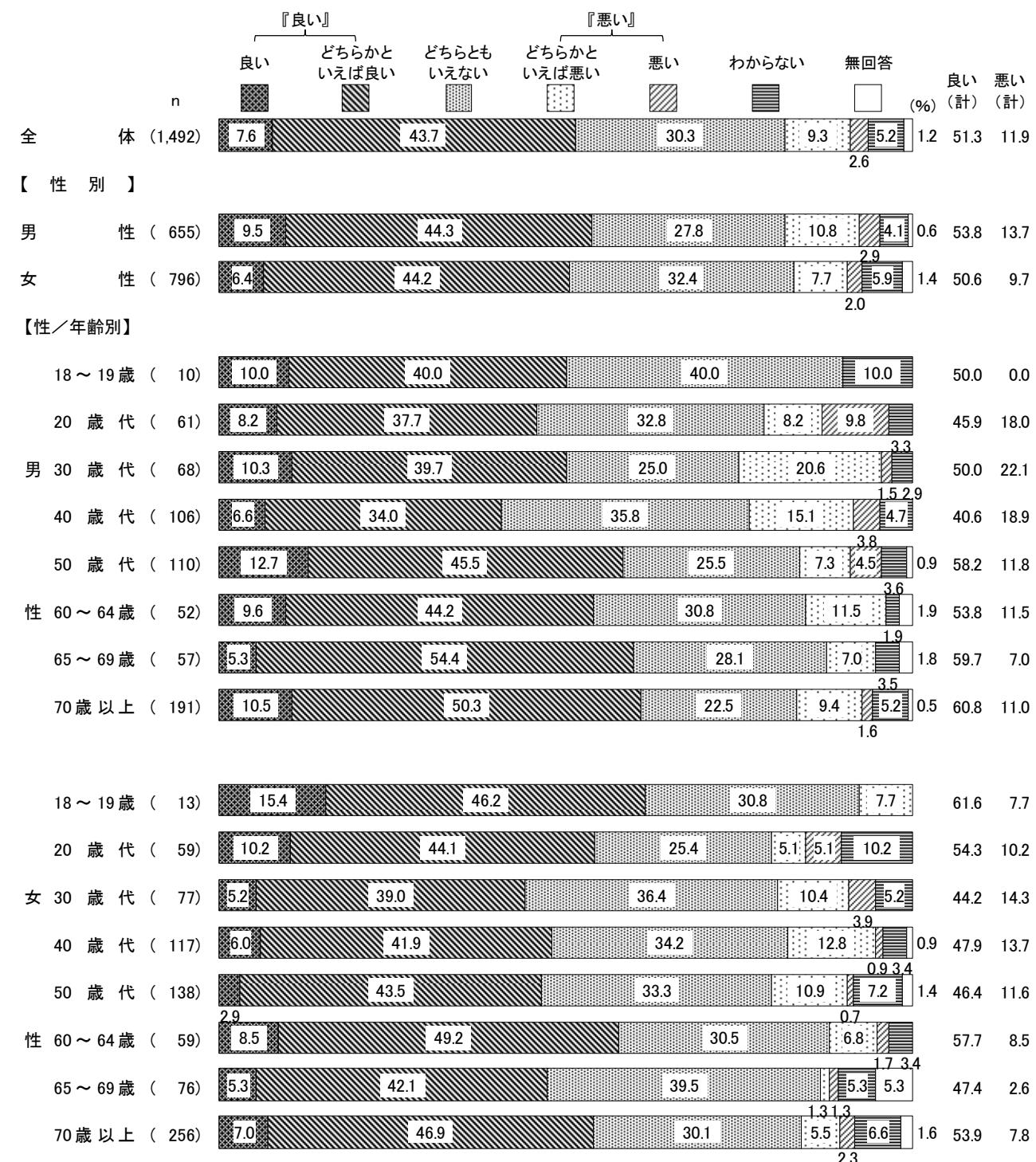


全体でみると、「良い」(7.6%)と「どちらかといえば良い」(43.7%)の2つを合わせた『良い』(51.3%)が5割強となっている。一方、「どちらかといえば悪い」(9.3%)と「悪い」(2.6%)の2つを合わせた『悪い』(11.9%)が1割強となっている。また、「どちらともいえない」(30.3%)が約3割となっている。



過去の調査結果と比較すると、前回（令和6(2024)年）から『良い』が5.0ポイント減少している。

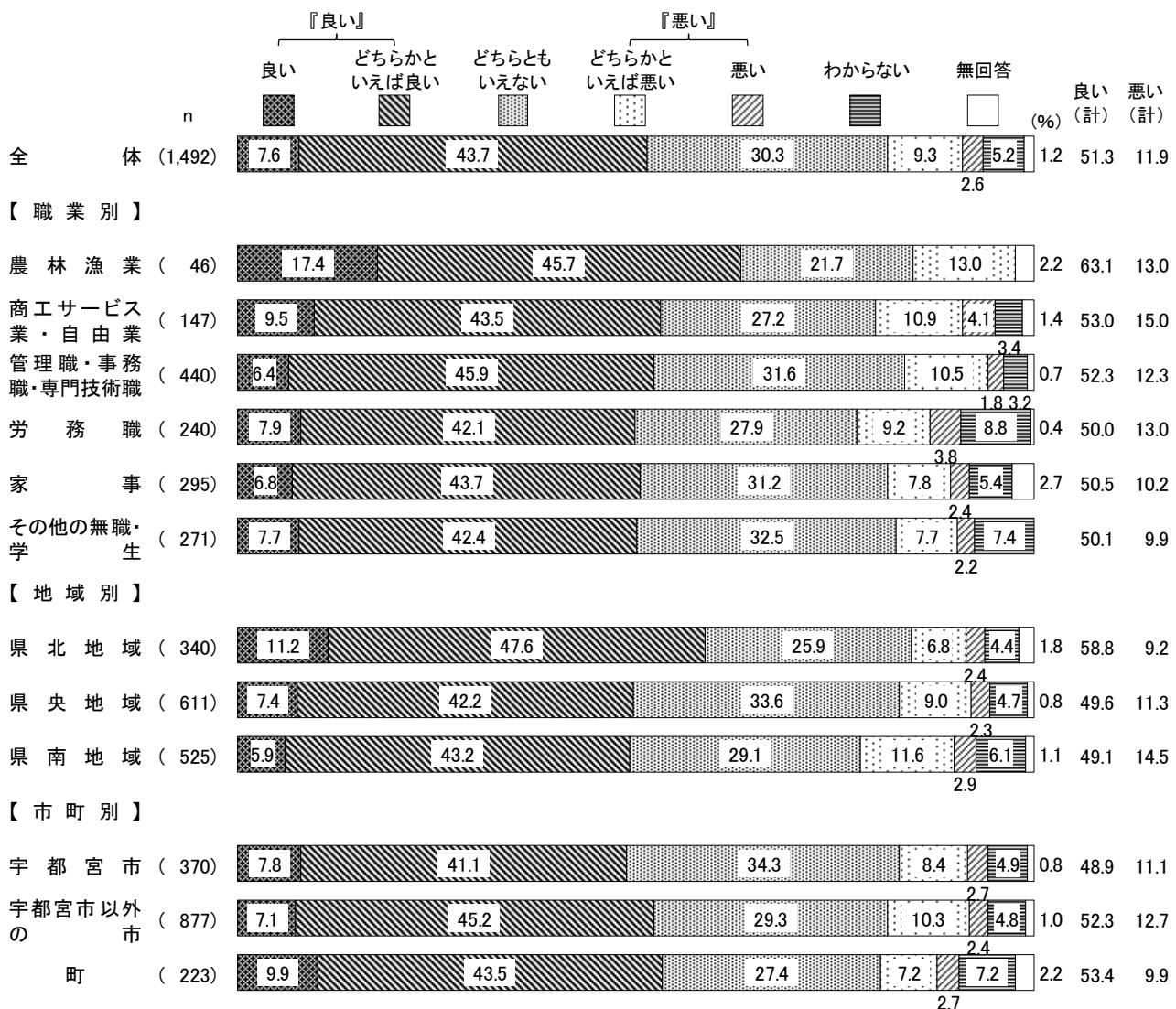
[性別・性／年齢別]



性別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

性／年齢別でみると、『悪い』では〈男性30歳代〉が22.1%と高くなっている。一方、『良い』では〈男性70歳以上〉が60.8%〈男性65～69歳〉が59.7%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別]



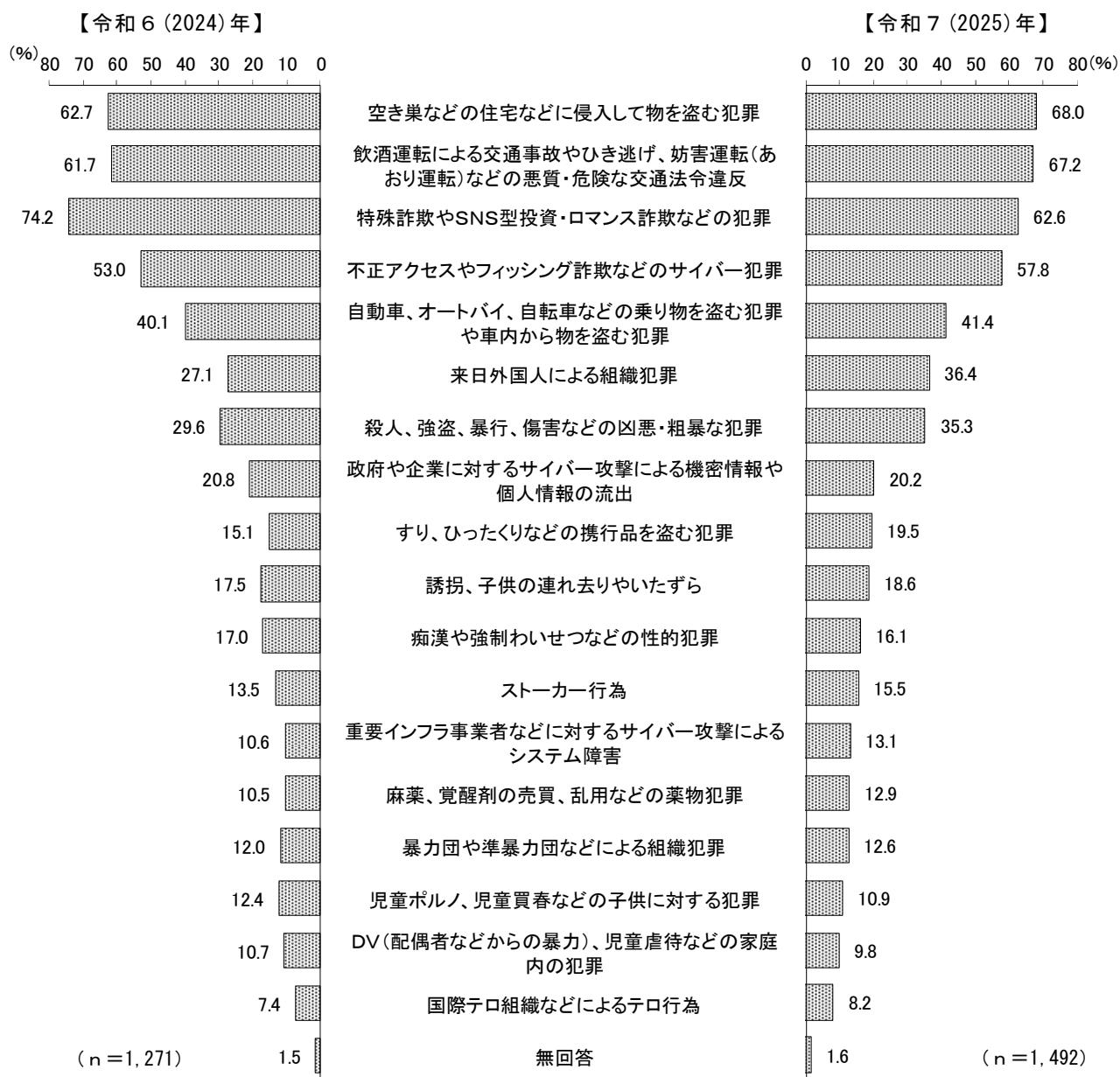
職業別でみると、『良い』では〈農林漁業〉が63.1%と高くなっている。

地域別でみると、『良い』では〈県北地域〉が58.8%と高くなっている。

市町別でみると、大きな傾向の違いはみられない。

(2) 不安に感じる犯罪

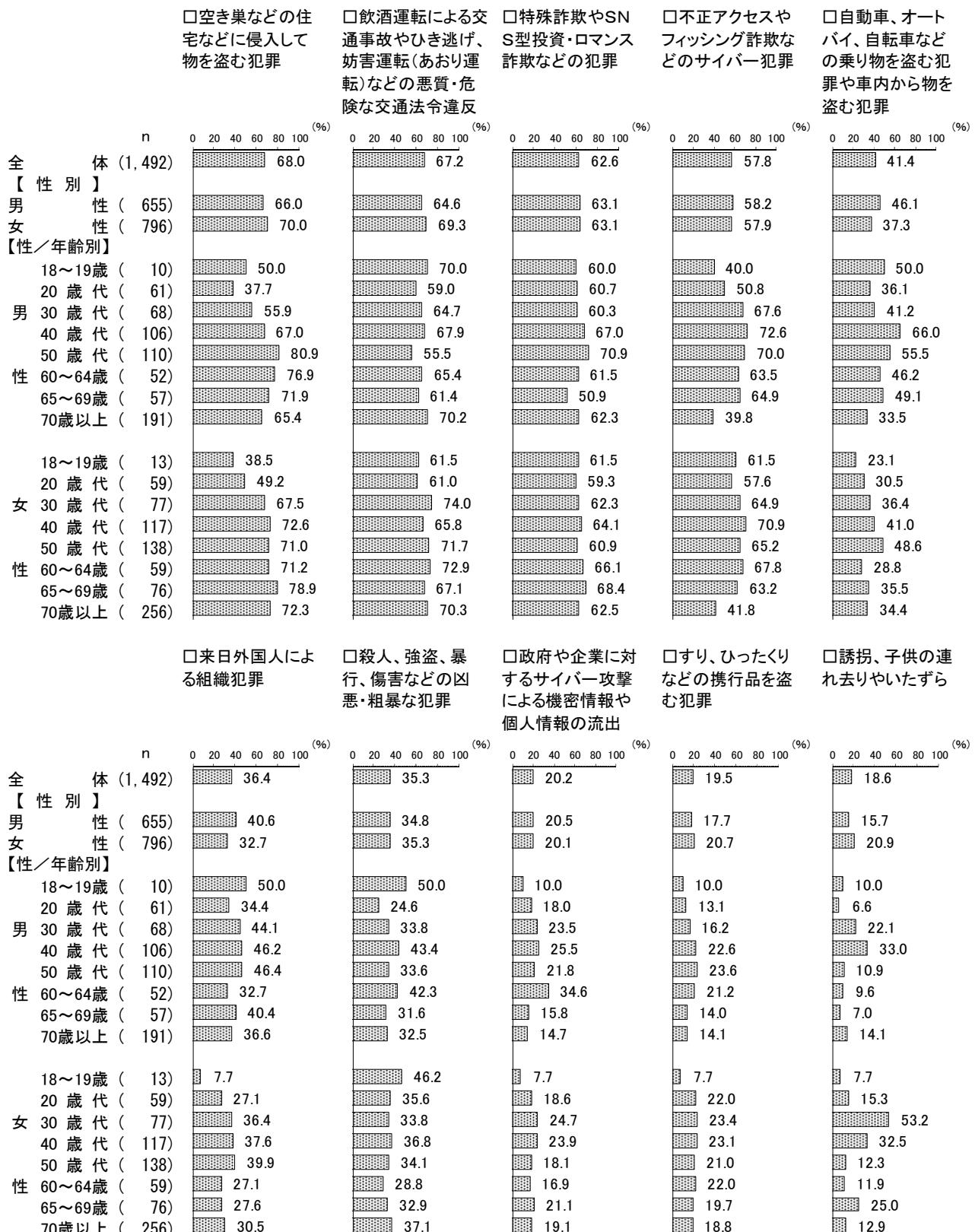
問31 社会が変化する中、あなたが、自分や身近な人が被害に遭うかもしれないと不安になる犯罪などは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。 [n=1,492]	
1 特殊詐欺や悪質商法などの犯罪	62.6%
2 不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪	57.8
3 飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転（あおり運転）などの悪質・危険な交通法令違反	67.2
4 殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪	35.3
5 空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪	68.0
6 自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪	41.4
7 政府や企業に対するサイバー攻撃による機密情報や個人情報の流出	20.2
8 DV（配偶者などからの暴力）、児童虐待などの家庭内の犯罪	9.8
9 誘拐、子供の連れ去りやいたずら	18.6
10 麻薬、覚醒剤の売買、乱用などの薬物犯罪	12.9
11 来日外国人による組織犯罪	36.4
12 すり、ひったくりなどの携行品を盗む犯罪	19.5
13 児童ポルノ、児童買春などの子供に対する犯罪	10.9
14 痴漢や強制わいせつなどの性的犯罪	16.1
15 重要インフラ事業者などに対するサイバー攻撃によるシステム障害	13.1
16 ストーカー行為	15.5
17 国際テロ組織などによるテロ行為	8.2
18 暴力団や準暴力団などによる組織犯罪	12.6
(無回答)	1.6



全体でみると、「空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪」(68.0%)が7割近くで最も高く、次いで、「飲酒運転による交通事故やひき逃げ、妨害運転(あおり運転)などの悪質・危険な交通法令違反(以下『悪質・危険な交通法令違反』といふ。)」(67.2%)、「特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの犯罪」(62.6%)、「不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪」(57.8%)、「自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」(41.4%)の順となっている。

前回(令和6(2024)年)の調査結果と比較すると、「来日外国人による組織犯罪」が9.3ポイント、「殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪」が5.7ポイント、「悪質・危険な交通法令違反」が5.5ポイント、「空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪」が5.3ポイントそれぞれ増加している。一方、「特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの犯罪」が11.6ポイント減少している。

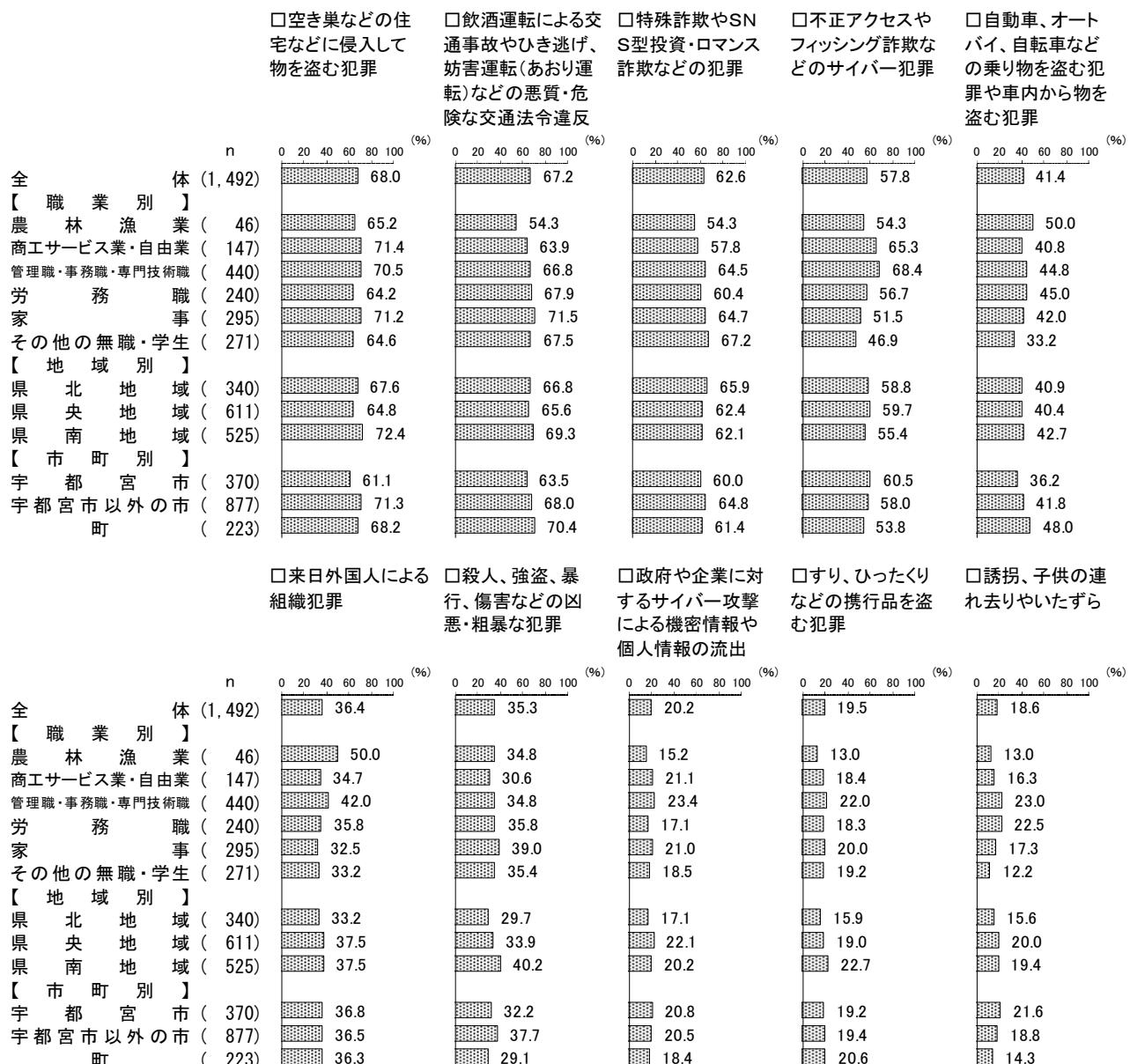
[性別・性／年齢別] (上位10項目)



性別でみると、「自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」では〈男性〉(46.1%) が〈女性〉(37.3%) より8.8ポイント、「来日外国人による組織犯罪」では〈男性〉(40.6%) が〈女性〉(32.7%) より7.9ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「誘拐、子供の連れ去りやいたずら」では〈女性〉(20.9%) が〈男性〉(15.7%) より5.2ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪」では〈男性50歳代〉が80.9%、〈女性65～69歳〉が78.9%と高くなっている。『悪質・危険な交通法令違反』では〈男性50歳代〉が55.5%と低くなっている。「特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの犯罪」では〈男性65～69歳〉が50.9%と低くなっている。「不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪」では〈男性40歳代〉が72.6%、〈女性40歳代〉が70.9%、〈男性50歳代〉が70.0%と高くなっている。「自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪」では〈男性40歳代〉が66.0%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別] (上位10項目)



職業別でみると、『悪質・危険な交通法令違反』では〈農林漁業〉が54.3%と低くなっている。『特殊詐欺やSNS型投資・ロマンス詐欺などの犯罪』では〈その他無職・学生〉が67.2%と高くなっている。『不正アクセスやフィッシング詐欺などのサイバー犯罪』では〈管理職・事務職・専門技術職〉が68.4%、〈商工サービス業・自由業〉が65.3%と高くなっている。『自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪』では〈農林漁業〉が50.0%と高くなっている。『来日外国人による組織犯罪』では〈農林漁業〉が50.0%と高くなっている。

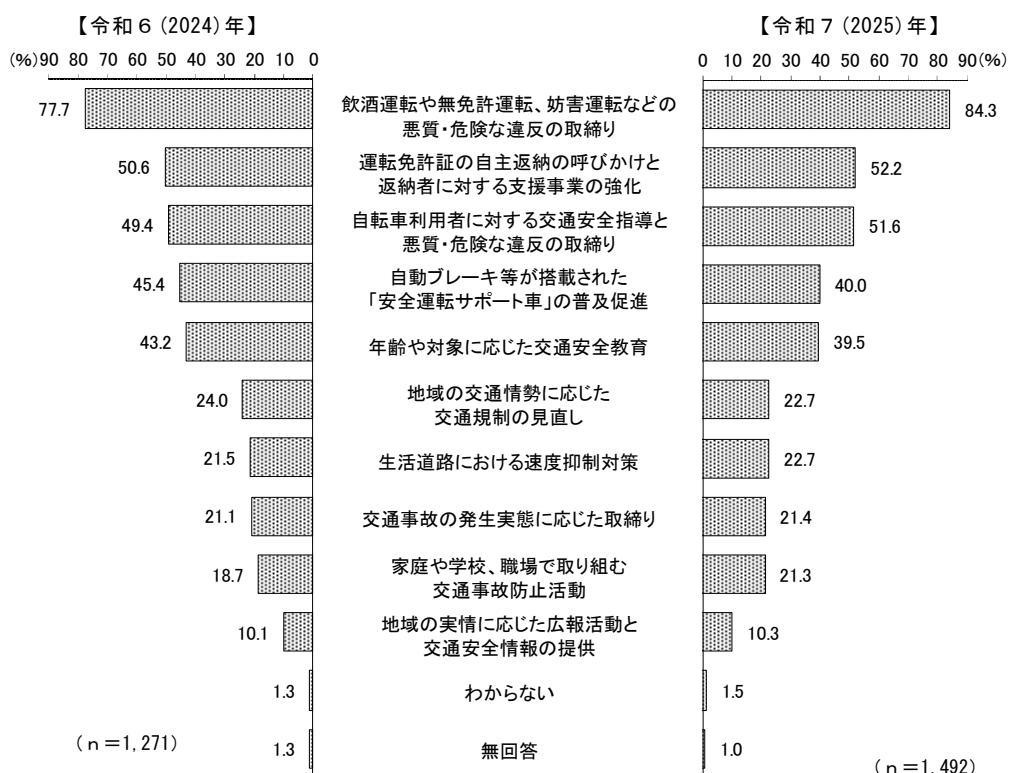
地域別でみると、『殺人、強盗、暴行、傷害などの凶悪・粗暴な犯罪』では〈県北地域〉が29.7%と低くなっている。

市町別でみると、『空き巣などの住宅などに侵入して物を盗む犯罪』では〈宇都宮市〉が61.1%と低くなっている。『自動車、オートバイ、自転車などの乗り物を盗む犯罪や車内から物を盗む犯罪』では〈宇都宮市〉が36.2%と低くなっている。

(3) 交通事故を抑止するための対策

問32 交通事故を抑止する上で、あなたはどのような対策が効果的だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。 [n = 1,492]

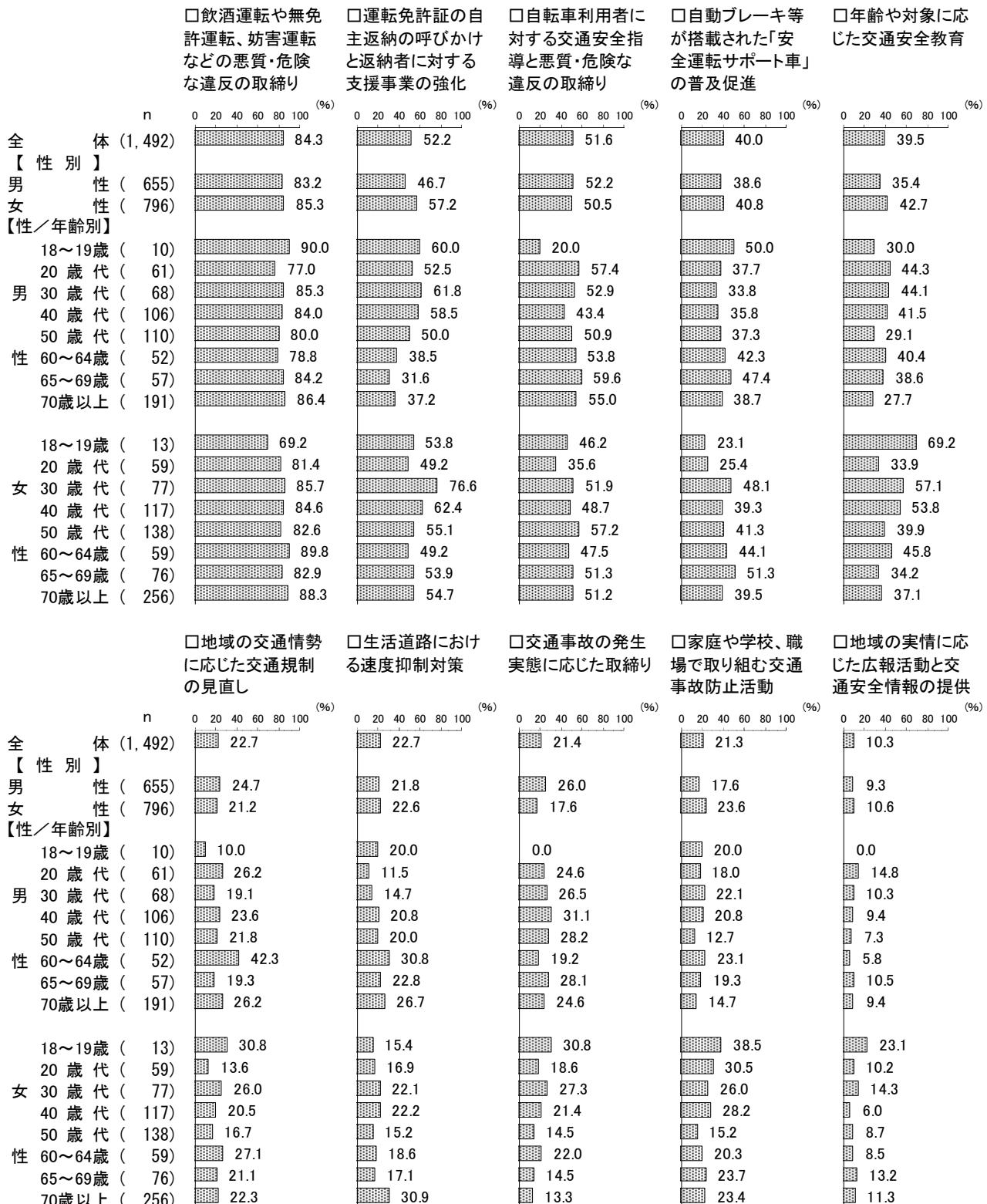
- | | |
|----------------------------------|-------|
| 1 飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り | 84.3% |
| 2 年齢や対象に応じた交通安全教育 | 39.5 |
| 3 自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り | 51.6 |
| 4 運転免許証の自主返納者に対する支援事業の強化 | 52.2 |
| 5 自動ブレーキ等が搭載された「安全運転サポート車」の普及促進 | 40.0 |
| 6 地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し | 22.7 |
| 7 地域の実情に応じた広報活動と交通安全情報の提供 | 10.3 |
| 8 生活道路における速度抑制対策 | 22.7 |
| 9 交通事故の発生実態に応じた取締り | 21.4 |
| 10 家庭や職場で取り組む交通事故防止活動 | 21.3 |
| 11 わからない | 1.5 |
| (無回答) | 1.0 |



全体でみると、「飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り」(84.3%) が8割台半ば近くで最も高くなっている。次いで、「運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する支援事業の強化」(52.2%)、「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」(51.6%)、「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」(40.0%)、「年齢や対象に応じた交通安全教育」(39.5%) の順となっている。

前回(令和6(2024)年)の調査結果と比較すると、「飲酒運転や無免許運転、妨害運転などの悪質・危険な違反の取締り」が6.6ポイント増加している。一方、「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」が5.4ポイント減少している。

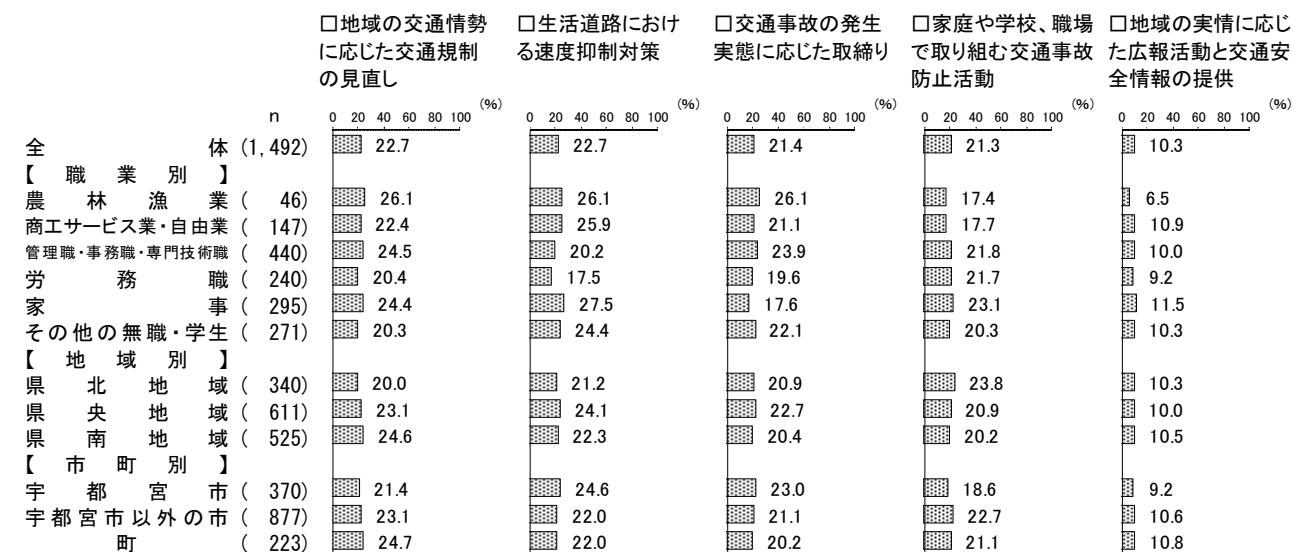
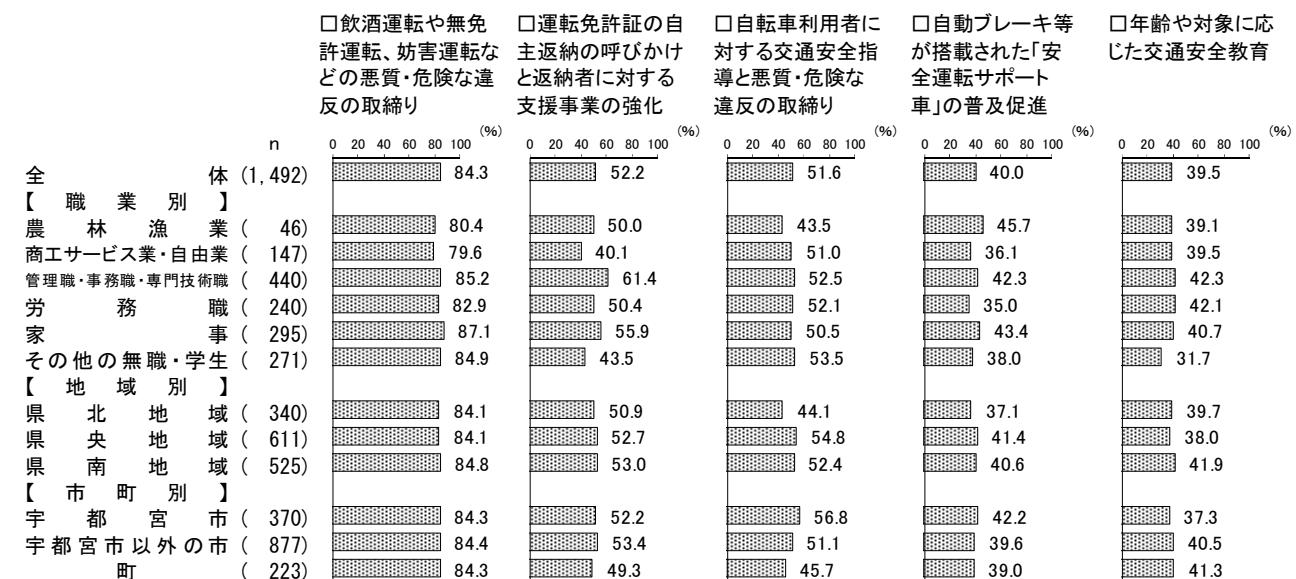
[性別・性／年齢別] (上位10項目)



性別でみると、「運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する支援事業の強化」では〈女性〉(57.2%) が〈男性〉(46.7%) より10.5ポイント、「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈女性〉(42.7%) が〈男性〉(35.4%) より7.3ポイント、「家庭や学校、職場で取り組む交通事故防止活動」では〈女性〉(23.6%) が〈男性〉(17.6%) より6.0ポイントそれぞれ高くなっている。一方、「交通事故の発生実態に応じた取締り」では〈男性〉(26.0%) が〈女性〉(17.6%) より8.4ポイント高くなっている。

性／年齢別でみると、「運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する支援事業の強化」では〈女性30歳代〉が76.6%と高くなっている。「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」では〈女性20歳代〉が35.6%と低くなっている。「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」では〈女性65～69歳〉が51.3%と高くなっている。「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈女性30歳代〉が57.1%、〈女性40歳代〉が53.8%と高くなっている。「地域の交通情勢に応じた交通規制の見直し」では〈男性60～64歳〉が42.3%と高くなっている。

[職業別・地域別・市町別] (上位10項目)



職業別でみると、「運転免許証の自主返納の呼びかけと返納者に対する支援事業の強化」では〈管理職・事務職・専門技術職〉が61.4%と高くなっている。「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」では〈農林漁業〉が43.5%と低くなっている。「自動ブレーキ等が搭載された『安全運転サポート車』の普及促進」では〈農林漁業〉が45.7%と高くなっている。「年齢や対象に応じた交通安全教育」では〈その他の無職・学生〉が31.7%と低くなっている。

地域別でみると、「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」では〈県北地域〉が44.1%と低くなっている。

市町別でみると、「自転車利用者に対する交通安全指導と悪質・危険な違反の取締り」では〈宇都宮市〉が56.8%と高くなっている。